

核兵器なくせの声を世界に広げて



NPT (核不拡散条約) 発行後の世界の動き

1970年NPT (核不拡散条約) が発行された後も、「核大国だけが核兵器を持つのは不当だ」として核を保有する国がでてきました。そうした中、核が拡散するのを防ごうと『核兵器禁止条約』が練り上げられてきました。

しかし！

アメリカ、ロシア間で結ばれていたINF条約 (中距離核戦力全廃条約) が昨年破棄されたことで米・ロの核開発が進もうとしています。北朝鮮やイランをめぐる核兵器開発も大きな問題になっています。

友だちに署名を郵送

北医療生協では核兵器廃絶をめざし、「ヒバクシャ署名」にとりくんでいます。組合員の中には、「返信用の封筒をつけて、友だちに署名を送ったよ」という方も。昨年12月から集まっている署名は588筆 (1月9日現在)。みなさんもぜひ署名にご協力ください。

署名に際しては、北医療生協の病院・診療所・事業所に設置してあるものを活用していただくか、お近くの支部運営委員にお声かけください。

Overkill…

毒ガスなど残虐な化学兵器については国際条約で禁止されているのに、最も残虐な核兵器には禁止条約がありません。そして、人類を何回でも皆殺しにできるオーバーキル (overkill) といわれる恐ろしい事態になっているのです。

「核兵器なくせ」の声を友だち、家族、知り合い、そして世界に広げて、核兵器に固執する勢力を封じ込めていきましょう！

